

## **別紙1** 大会時の遵守事項（新型コロナウイルス感染拡大の防止対策）

### 1 参加者が遵守すべき事項

(1) 会場（体育館）の入場は次の者とする。

- ①スタッフ（監督、コーチ、マネージャー）（別紙2 チーム用「大会参加者記入票の記載者のみ」）  
※競技フロアに入れるのは、有効に登録された指導者3名のみです。
- ②参加生徒（別紙2 チーム用「大会参加者記入票の記載者のみ」）  
※すべての部員が入館できます。競技フロアに入れるのは、登録選手のみです。

### 応援者については、自チームの試合時のみ、以下の人数を認める。

#### ③各チーム10名以内（未就学児は人数に含まない）

（別紙2 応援者用「大会参加者記入票の記載者のみ」）

入館する応援者は、全員揃って受付に集まる。遅れる場合は、受付でその旨を伝える。

受付で、入館許可書（IDカード）を発行する。目立つところに着用する。

試合ごとに入館する保護者は入れ替わってもよいが、別紙2に氏名を記載し受付で提出する。

※自チームの試合時以外は、体育館外にいただきます。

- ④大会関係者（別紙3「健康チェックカード」）  
（大会役員・生徒役員・中体連役員・出場校の校長あるいは教頭・長野県バレーボール協会関係者（高校の指導者含む）・救護・報道関係者・日本中体連協賛団体など）

※1) 上記①～④以外は、体育館に入館できない。

※2) 会場に入館の際、

上記①～②は、チームスタッフが別紙2 チーム用「大会参加者記入票」を受付に提出する。

上記③は、保護者の代表が別紙2 応援者用「大会参加者記入票」を受付に提出する。

上記④は、別紙3「健康チェックカード」を受付に提出する。

参加者は、必ず当日朝の体温を各自測り、平熱を超える発熱になっていないか確認すること。

※3) 会場の入り口で大会スタッフによる入館チェックを実施するので協力すること。

（入館前の体温が37.5度以上の方は、入館できません）

(2) 大会前1週間前において、次の事項に該当する者は、自主的に参加を見合わせる事。

- ①平熱を超える発熱
- ②咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常
- ③体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、疲れやすい、息苦しい（呼吸困難）等
- ④新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合

- ⑤同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方がいる場合
- ⑥過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触があった場合

## 2 大会参加者が準備・実施すべき事項

### (1) 参加者が行う感染拡大防止

- ①マスクを持参し着用する。  
参加生徒を含む大会関係者は全員マスクを持参し、競技等実施時・飲食中を除いてマスクを着用する。(熱中症等の健康被害が発生する可能性が高い場合は外す)
  - ・スタッフは、練習中もマスクを着用する。
  - ・リベロプレーヤーは、ベンチにいる間にマスクを着用する必要はないが、他の参加者と距離を確保する。
- ②こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。特に、入館時のアルコール消毒、試合や食事の前後の手洗いを必ず行う。
- ③手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参する。
- ④飲食物やタオルは個々に用意し、共用しない。
- ⑤競技等実施時を除いて、人と人との距離を確保(できるだけ1m以上)する。
- ⑥大会開催中は大きな声での会話、応援等をしない。
- ⑦大会(試合)前後のミーティング等においても、三つの蜜を避ける。
- ⑧感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従う。
- ⑨チームごとに、控え場所(荷物や待機するスペース)を決めるので、極力決められた控え場所にいる。(消毒液等を用意し、使用前・後にチーム控え場所の消毒を行う。)
- ⑩食事は、決められた控え場所(または、体育館の屋外)でとる。必ずチームの指導者の監督のもと、食事中は会話を控え、また向かい合っただけの食事は控える。食事後は、必ずその付近の消毒をする。
- ⑪ゴミは放置せず、ゴミ袋や段ボールなどにまとめ必ず持ち帰る。
- ⑫マスクの予備や使い捨て手袋、消毒液等は、各チームや個人で用意する。

### (2) 大会運営に関する事項

- ①入館について
  - ・開会式、閉会式は行わない。(感染状況により、実施する場合がある。)
  - ・代表者会議を8時35分から行います。代表者会議に出席するスタッフは、受付で別紙2「大会参加者記入票」か別紙3「健康チェックカード」を記入し提出してください。
  - ・チームスタッフは、選手の入館時に別紙2チーム用「大会参加者記入票」を受付に提出する。チームはまとめて入館する。
  - ・応援者は、自チームの試合時のみ入館できる。受付付近に集合してください。(前の試合が伸びた

場合は、受付で入館の案内をしますので、指示に従ってください) 入館時に**別紙2 応援者用「大会参加者記入票」**を受付に提出する。受付で発行した「入館許可書」を見えるところに着用する。入館する応援者は、全員揃って受付に集まる。遅れる場合は、受付でその旨を伝える。

- 出場校校長あるいは教頭またはベンチ入りしない副顧問は、受付で**別紙3「健康チェックカード」**への記入をして入館する。

#### ②観客について

- 応援者は、映像を撮ることを許可するが、**映像をライブ配信することは、禁止とする。またSNSに動画を載せることも禁止とする。**

#### ③競技中の注意事項

- 試合への出場選手以外は、チーム関係者全員がマスクを着用する。また、自身の感染リスクや他の選手に配慮して、コート内の選手がマスクを着用しても問題はありません。
- ウォームアップ中も、(特に集団で)大きな声を出さないようにする。
- 試合前などの円陣やベンチでの集合時においても、できるだけ密集・接触を避ける。
- ウォームアップエリアは、可能な限り広くするため、密にならないようにする。
- 仲間と手をつないだり、肩を組んだりして行う円陣、ハイタッチは禁止する。
- **鳴り物やメガホンを使用した応援は禁止する。また大きな声での応援を禁止する。(保護者も同様とする)**
- 競技中、靴底を手で触らない。
- ネット際などで、相手に向いた状態での発声を控える。
- コイントス時、キャプテンと審判間のあいさつ、試合前後の握手に関しては、一礼などで代える。
- タオル、水ボトル、アイシングバッグ等は共用しない。また、ドリンクの回し飲みは絶対に避ける。
- **試合球は、両チームの合計点が5の倍数に達したときに交換しながら使用し、こまめに消毒・清掃を行う。**
- 競技中のコートワイピングについては、プレーヤー自身が腰タオルを常備し、コートを拭くことを原則とする。ただし、競技場内の広い範囲が汗で濡れた場合は、審判の指示によりモップを使って拭くこともある。

#### ④用具等の消毒について

- 各チームで会場に持ち込む用具(練習球など)は、使用前後に必ず消毒を行う。
- 試合終了後、使用したベンチの消毒を行う。次のチームは、競技役員による他の用具の消毒等が終わった後、指示に従ってコートに入る。
- 記録用紙にサインする際のペンは、各自で用意する。

⑤生徒役員（線審・得点係）について

- ・開催地区で生徒役員を行う。統一した服装、マスク着用で行う。但し、感染状況により、大会参加チームにお願いする場合もある。
- ・線審フラッグは、各チームで持参し使用する。

⑥駐車場について

- ・**別紙駐車場の案内を読み、必ず注意事項を守る。（駐車台数に限りがあります）**
- ・会場敷地内に駐車できる者は、以下の通りとする。その他は、駐車できない。  
チームスタッフ（監督・コーチ・マネージャー） 、大会関係者  
選手の送迎バス、入館する応援者

**3 参加生徒または顧問（関係指導者）、大会役員などの感染が判明した場合の対応**

（1）大会前

- ①当該参加生徒、顧問、濃厚接触者と特定された者の出場（入場）は認めない。
- ②参加申し込み後の、該当生徒の選手変更を認める。プログラムの変更はできない。

（2）大会期間中

- ①発熱等の症状を訴える参加生徒を確認した場合は、保護者に迎えに来てもらい速やかに帰宅させ、医療機関に電話等で相談するように指導する。
- ②上記①によって帰宅した生徒の翌日以降の参加は、医師や保健所の指示に従ったり、各校の校長と相談したりする。

（3）大会後

- ①感染者の所属する学校や行政機関の指示に従う。
- ②大会終了後1週間以内に、参加者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告すること。  
報告先：（一財）長野県バレーボール協会 牛田佳伸 丸ノ内中学校 0263-32-1962  
携帯 090-4533-7811
- ③感染者が発生した場合、感染者と特定しようとすることやSNS等で誤った情報を発信することのないよう、全ての関係者に対して指導する。

※大会に係るすべての人の安全を確保するため、本内容を遵守できない人及びチームには大会等への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。

**チーム責任者は、必ず本内容を参加者（応援者含む）に周知すること**